

標十五句

松岡隆子選

草叢のそよぎを出でて夕螢
蛇苺むかしここより牛入れて
雨の日の南部風鈴より暮れる
夏至の日の眼鏡の重くなりけり
寝ねかての彼の世親しく夏の月
ゆつたりと刻の流れてかたつむり
夕涼し安らぐものに子の電話
青蘆の波 嫺やか かに 更衣
日は山に落ちゆくままに代を搔く
扇風機ひいきが負けて止めけり
陵の辺りしづけくさみだるる
立葵海の匂ひの暮れてより
いつの間に猫の座りて夕端居
ひつそりと二階の灯る 薺の花
ゆるゆると入るも出づるも踊の輪

松原ふみ子
佐藤郭子
川上昌子
別府優
染谷晴子
秋元きみ子
渡辺あつ子
早川紀子
北村敦子
相馬晃一
椎名佐和子
中谷信子
菊池一枝
田中敦子
菊池京子